



興部高校だより

行力誠至

オホーツクの流氷をとかせ！熱き挑戦 令和8年2月19日 第366号

日本一の雪質を堪能！名寄ピヤシリスキー場へスキー遠足！

2月6日金曜日、毎年恒例の行事である1・2年生合同のスキー遠足に行ってきました。行き先は、雪質日本一と称される名寄のピヤシリスキー場。きれいに晴れ渡る青空の下、興部町からのご支援により手配していただいた大型バスに乗り込み、期待に胸を膨らませながら出発しました。

ところが、目的地の名寄市に近づくにつれて、空模様は次第に怪しさを増していきます。膨らむ期待とは裏腹に、雲は厚くなり、風も強まってきました。

スキー場に到着後、早速リフトに乗ってゲレンデへ。目の前に広がるのは、風で舞い上がる真っ白なシルキースノー。日本一の雪質を、文字どおり全身で受け止めることになりました。

それでも、そんなあいにくのコンディションにも負けずに、前進姿勢を忘れないのが興部高生。何度も何度もリフトに乗り、転んでは立ち上がり、また滑り出す姿は本当に頼もしく感じられました。その姿は、まさに校歌三番の一節「風雪耐えてここに立つ、興部高校我らが誇り♪」。この言葉どおりの光景でした。

スキー遠足の楽しみの一つは、みんなで食べるお昼ご飯。持参したお弁当を広げる生徒、レストハウスでラーメンやカレーを味わう生徒、それぞれに笑顔があふれていました。中には、外気温が氷点下6.4℃にもかかわらずソフトクリームをほおぼる強者の姿も。さすがは酪農王国興部町。乳質日本一（※この記事を書いた教頭の個人的見解です）の町の高校生は、ウィンタースポーツの最中でもソフトクリーム愛を忘れることはありません。

スキー上達のためには、まず安全に転ぶことが大切だと言われています。スピードが出すぎて危険を感じたら、思い切って転ぶ。そして、また立ち上がる。転ぶことは決して恥ずかしいことではありません。そしてこれは、スキーに限った話ではないように思います。挑戦すれば、失敗することもあります。思いどおりにいかないこともあります。しかし、興部高校には、一緒に転んでくれる仲間がいます。立ち上がるために手を差し伸べてくれる仲間がいます。そばでそっと見守り、支えてくれる先生方がいます。失敗を恐れずに挑戦できること。安心して転び、また立ち上がれること。そんな「心理的安全性」が確保された環境こそが、興部高校の大きな魅力の一つだと、あらためて感じた一日でした。



心の合図に気づく力を！興部町福祉保健総合センターによる保健講話！

1月20日、興部町福祉保健総合センターの保健師2名を講師にお迎えし、保健講話を実施しました。自他の心の危機に気づく力を高め、相談できる場所があることを知ること、そしてストレスへの対処法を身につけることを目的としています。講話では「感じ方は人それぞれ」であることを学び、自分や友だちの“心の合図”に気づく大切さを確認しました。また、「SOSは弱さじゃない」という言葉のもと、助けを求めることの意義や、相談を受けたときの受け止め方について具体的に学びました。さらに、ストレスは“なくす”のではなく“つきあう”ものと捉え、自分に合った対処法やアサーションについて理解を深めました。思いやりある関係づくりにつながる講話となりました。



命を守る力を学ぶ！興部消防署講師による救急救命講習！

2月3日、1年生を対象に救急救命講習を実施しました。保健の授業の一環として行い、「救急救命に関する知識と実践力を身につけること」を目的としています。普通救急救命講習修了証の取得を目指し、1時間目は応急手当や救急救命の基礎知識について講義を受け、迅速な対応の重要性を学びました。続く2・3時間目は、紋別地区消防組合消防署興部支署救急係の皆様を講師に迎え、心肺蘇生法やAEDの使用法、けがの応急手当を実技で学びました。胸骨圧迫の強さやリズム、手順を確認しながら真剣に取り組む姿が印象的でした。命を守る行動の重みを実感する貴重な学びの機会となりました。



3月の行事予定

1日(日) 第75回卒業証書授与式	11日(水) 高校入試(追検査)
2日(月) 振替休日(卒業証書授与式)	12日(木) 自主学習の時間(6校時終了後)
3日(火) 高校入試検査場設営	17日(火) 高校入試合格発表
4日(水) 高校入試(学力検査)【登校禁止】	24日(火) 終業式・離任式
5日(木) 高校入試(面接)【登校禁止】	

ホームページへのアクセスは、次のURL または QR コードからお願いします。

<http://www.okoppe.hokkaido-c.ed.jp>

